

第126回山口国際文化化学研究会
(長期研修報告会)

10 / 30
(水)

16:20-17:50
C546 室にて

参加無料
申込不要

江戸時代の京都を歩く

江戸時代の紀行文作家・小津久足(おづひさたり)は、生涯で46作の紀行文を残し、そのうちの21作で京都を訪れています。久足の紀行文を手に、

半年間、現在の京都をフィールドワークした成果をご紹介します。

【プロフィール】

江戸時代の文学・文化を研究しています。

街歩きと豆腐好きが高じて、京都に魅せられた47歳です。

今回紹介する小津久足については、

『小津久足の文事』(ペリカン社)

『大才子 小津久足』(中公選書、第45回)

サントリー学芸賞「芸術・文学部門」受賞)などの著書があります。

発表：菱岡憲司

(山口県立大学教授)

山口県立大学図書館前にて



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University



会場：山口県立大学 3号館 5階 C546 室
山口市桜島 6-2-1

どなたでもお気軽にご参加ください

主催：山口県立大学大学院 国際文化学研究科

問合せ：山口県立大学大学院 事務室 TEL: 083-929-6525